



希望に満ちて

さいたま市立大門小学校

自ら学ぶ子
だれとでも仲よくする子
進んできたえる子
人とのかわりを大切にする子

創立145周年の幕開け

校長 石黒 真愁子

温かな春の光を浴び、正門から続く美しい花々が、子どもたちの入学、進級をお祝いするかのよう春風に揺れています。今年の2月4日（土）、立春の節目となる日に植樹された本校シンボルツリー2代目となる「シダレザクラ」も新しい年度を迎え、力いっぱい輝きを放っています。「シダレザクラ」の花言葉は「優美」です。春風にそよぐシダレザクラの優しい美しさは、大門小学校の心豊かで優しい子どもたちを映し出しているかのようです。

4月6日に新学期の準備で登校した新6年生は、卒業式で先輩から引き継いだ最上級生としての最初の仕事として、清掃や入学式の準備などを一生懸命行ってくれました。たくさんの仕事を短時間で手際よく行いました。伝統を受け継いだ頼もしい最上級生の誕生です。また、4月10日の始業式には、子どもたちは目を輝かせ、真剣な表情で話を聴いていました。その姿からは、1学年進級したことをしっかりと受け止め、自覚していることがひしひしと感じられました。

新たなスタートにあたり、子どもたちには「さあ！頑張るぞ」と意欲満々の今の新鮮な気持ちを大切に、いろいろなことに挑戦し、日々成長して欲しいと切に願っています。次の学年へとステップアップした子どもたちが、優美な「シダレザクラ」を笑顔で見上げ、希望を胸に踏み出します。子どもたちの健やかな成長を、どうか引き続き応援していただけますようお願い申し上げます。

最後になりますが、平成29年度、大門小学校は、「心豊かで たくましい 大門小児童の育成」を学校教育目標に掲げ、「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスを大切に教育を推進してまいります。具体的には、

「自ら学ぶ子」(知)

「だれとでも仲よくする子」(徳)

「進んできたえる子」(体)

「人とのかわりを大切にする子」(コミュニケーション)

を目指す児童像とし、保護者の皆様に「安心して安全に通える学校」子どもたちに「授業が楽しく友達と仲良く遊べる学校」そして地域に「愛される学校」を目指して教職員一丸となって、努力してまいります。

また、本校は今年度、創立145周年を迎えます。明治6年5月5日に大興寺に大門学校として開校され、その後大門村立大門小学校、美園村立大門小学校、浦和市立大門小学校とその名を改称しながら今日に至ります。校長として、歴史と伝統のある大門小学校の更なる発展に向けて、誠心誠意、努めてまいります。長きにわたる保護者や地域の方々の願いと思いを胸に、創立145周年の幕開けです。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。